

IVR 日本支部運営委員会議事録

日時：2026 年 1 月 10 日（土）10 時 00 分～11 時 40 分

場所：明治大学駿河台キャンパス・グローバルフロント 2 階 4021 教室、Zoom のハイブリッド開催

出席：足立英彦（支部長）、池田弘乃、川瀬貴之、近藤圭介、椎名智彦、土井崇弘、長谷川陽子、早川のぞみ、福原明雄（会計）、横濱竜也、米村幸太郎、戒能通弘（事務局長）

（オブザーバー）：瀧川裕英（IVR 理事・副会長）

欠席：服部寛

報告・審議事項

1. 前回議事録の承認

- 確認の上、承認された。

2. IVR 理事会について

- 瀧川 IVR 理事・副会長より、前回の運営委員会（2025 年 11 月 28 日）以降、IVR 理事会は開催されておらず、改めての報告がない旨、お話があった。

3. 第 3 回 IVR Japan 国際会議について

- 足立支部長から、registration, payment の締切り後、報告数が 115 報告、accompanying person も含めた全参加者数が 134 名であることが報告された。
- 足立支部長から、別紙（「IVRJ2026 準備状況」）に基づいて次の諸点が報告された。
 - ・現時点の収支の見込み。なお、Plenary 講師の旅費等は IVR 神戸基金から拠出することも確認された。
 - ・計 8 名の方にアルバイトをご依頼いただき、ご承諾をいただいたこと。
 - ・各会場のパワポ利用環境の整備（パソコン+プロジェクタ+スクリーン）、大会議室マイク・パワポ利用環境確認、椅子追加（スクール 99 席）、金沢市観光マップ入手、受付設営（机・椅子の配置）、神戸レクチャー参加者記録、看板作成、28 日 reception 会場への案内サイン、Plenary 講演（王先生・野崎先生）原稿の印刷、30 日の市内ツアーの連絡。
 - ・運営委員から食事代、コーヒー代を少し削れるのではないか、各参加者用のペットボトルの水（炭酸水を含む）を用意する必要があるが指摘され、検討されることになった。ペットボトルのジュースなども用意して、控え室に置くこととなった。
 - ・小規模の会場で椅子が足りないような場合は、ホール内の椅子を移動できることも確認された。
- 足立支部長から、別紙（「IVRJ2026 準備状況」）に基づいて各自の役割について報告さ

れ、運営委員の指摘の上、次の諸点が確認された。

- ・オンライン報告対応準備（横濱委員・米村委員）。general session において、該当者のみ対応することが確認された。
 - ・名札準備・名簿作成（早川委員・土井委員）。名札については、早川委員を中心に、業者に当たっていただくことになった。Certification of Attendance を裏面に印刷するかは、別途、検討する
 - ・プログラム作成（川瀬委員、戒能事務局長）。EasyChair で作成。なお、各セッションのタイトルも考えて付けることとなった。
 - ・Proceeding 作成（川瀬委員）。データ配布のみ。
 - ・VISA、CoE（在留資格認定証明書）についての連絡、書類の準備等（近藤委員）。
 - ・会計関連（送金等）（福原会計委員）。
 - ・参加者アンケート準備（横濱委員）。アンケートの項目案を提示いただき、ML で委員からの意見を募ることになった。会議終了日（3月29日）以降に参加者に EasyChair のメール機能で送付する。
 - ・Plenary の司会（王先生：足立支部長）、（野崎先生：椎名委員）が担当。
 - ・Reception（28 日夜）司会（足立支部長）、歓迎スピーチ（瀧川 IVR 理事・副会長、日本法哲学会理事長として）。
- 足立支部長から IVRJ2026 に参加する運営委員に対して 16:30 に金沢市文化ホールに集合してほしいとの要請があった。
- また、IVRJ2026 の終了後の 4 月初旬に臨時運営委員会（反省会）を Zoom で開催することになった。

4. The second edition of the IVR Encyclopedia について

- 瀧川 IVR 理事・副会長から、ご作成いただいた google スプレッドシートに基づいて、スケジュール、担当などについて、次のような説明があり、確認された。

5. 新入会員／退会者の承認

- 福原会計担当委員より、新たな入会者が報告され、承認された（退会者はなし）。

以上

※運営委員会後、次の点について確認されることになった。

- 複数での報告で、その内の一部しか参加しない場合に、その報告が共著論文に基づいている場合、IVRJ2026 に参加しない共著者の名前を、プログラムに記載するかが問題になる。運営委員会後（1 月 12 日）からメール審議を実施して「該当する方のお名前にアスタリスクを付けて、co-author but not presenting などと記す」といった施策の是非について、足立支部長から諮られた。

対象となるのは次の各報告など（○登録・支払い済み、×不参加確定・共著者であると確認済み、△不参加は確定・共著者か要確認）。

・ ○Terezie Smejkalova, ×Dennis Wassouf and △Petr Palíšek

・ ○Ferry Fathurokhman and △Iren Sudarya

・ ○Peng-Hsiang Wang and △Linton Wang

- 次回の運営委員会を 2026 年 7 月 26 日（日）（開始時刻未定）にハイブリッド方式で開催することになった。